

暑中お見舞い 申し上げます



大崎町長 東 靖弘

新聞やテレビで毎日のように猛暑と言われるような暑い日が続いておりますが、町民の皆様方におかれましては、それぞれが暑さへの対策をしていただき、お元氣にお過ごしのこととお喜び申し上げます。

昨年の東日本大震災での原発事故を契機に、全国で節電が叫ばれるようになり、私たちの大崎町におきましても節電を図るために、各家庭や事業所で、ニガウリや朝顔などによるグリーンカーテンを設置いただくことや、エアコンの設定温度の調整など、いろんな面での節電の取り組みをしていただいております。その努力に敬意を表するとともに、深く感謝している次第であります。

現在、いわゆる台風シーズン真っ只中でありまして、九州北部においては七月に、過去最大の豪雨により、多くの尊い命や財産が奪われるという甚大な災害が発生しております。被災された方々に対しまして心からご冥福をお祈りし、重ねてお見舞いを申し上げます。

地球温暖化の進行に伴い、気象条件も以前とは大きく変わり、台風が発生する期間も長期になり、災害の発生率も高くなってきたと考えられることから、台風や豪雨等により町民の皆様方の生命や財産に被害が発生しないよう、また、被害を最小限に食い止めるために日々防災に心がけ、安全・安心な大崎町づくりをまい進してまいります。

また、大崎町が先人から受け継いでいる白砂青松のくにの松原を再生し、大崎町の観光資源の掘り起こしを行うとともに、都市農村交流（グリーンツーリズム）を推進し、大崎町の活性化と地域振興をはかることを目的に、大崎町に多くの人々が訪れてくれるようなまちづくりにも力を注いでまいりたいと考えております。

一方、町民の皆様の見聞を広めていただくための施策のひとつとして、これまで県の出先機関まで出向いて手続をしていただいていたパスポートの交付申請を役場でできるようにして、海外へ行かれる町民の皆様

の負担軽減の一助としたいと考えております。

さて、大崎町だけではなく、全国的な問題となっております。少子化の影響によりまして、大崎町の子どもの数も年々減少していく傾向にあります。ことから、町内の三中学校を統合することといたしました。円滑な統合ができるよう、地域の方や保護者の方々により協議を重ねていただいております。現在、大崎中学校の校舎等の大規模改造を行い、小学校につきましても、夏場の教育環境改善のために、各教室に扇風機を設置する工事を実施し、大崎町の子どもの快適な環境づくりにも力を注いでいるところであります。

まだまだ暑い日が続きますので、熱中症には十分注意いただき、ご家族とご一緒に楽しい夏をお過ごしください。ようお祈り申し上げます。

平成二十四年 盛夏

大崎町長
他職員一同